

金沢工業大学  
自己点検・評価書

[大学基準協会・相互評価申請用]

平成16年3月

金沢工業大学

# 目 次

## 序 章

1. 金沢工業大学の歩み	1
1. 1 大学の設立を目指して	1
1. 2 建学の精神	1
1. 3 金沢工業大学の沿革	4
2. 日本一の大学を目指して	6
2. 1 金沢工業大学が目指す大学像	6
2. 2 教育付加価値日本一を目指して	7
2. 3 更なる教育改革への取組み	7
2. 4 卓越性の追究に向けて	8

## 本 章

### 第一部 工学部

第1章 金沢工業大学の理念・目的・教育目標	9
1. 1 理念・目的・教育目標	9
1. 1.1 金沢工業大学の使命（ミッション）	9
1. 1.2 学園共同体としての価値基準と行動規範	9
1. 1.3 金沢工業大学の教育理念と教育目標	11
1. 2 理念・目的・教育目標の達成状況	11
1. 2.1 工学設計教育の構築	11
1. 2.2 就職状況から見た評価	13
1. 2.3 社会からの評価	13
1. 3 理念・目的・教育目標を検証する仕組み	14
1. 3.1 学外評価委員会	14
1. 3.2 学内評価委員会	14
1. 4 平成16年度からの取組み	15
1. 5 大学としての健全性や構成員のモラルを確保するための綱領など	16
1. 5.1 KIT-IDEALS	16
1. 5.2 技術者倫理への取組み	17
1. 5.3 ネットワークの利用	17
1. 5.4 キャンパス・ハラスメントの防止	17

5. 教育活動の適正化	18
第2章 教育・研究組織	19
2. 1 金沢工業大学の構成	19
1. 金沢工大学園の組織	19
2. 金沢工業大学の学部と大学院	19
(1) 工学部	19
(2) 大学院	20
3. 学部における教育コア	21
(1) 教育課程と教育コア	21
(2) 専門コア領域	22
2. 2 学事運営組織	23
2. 3 教育支援機構	24
2. 4 研究支援機構	25
2. 5 教育・研究組織の妥当性の検証	26
第3章 教育・研究の内容・方法と条件整備	27
3. 1 学部・学科などの教育・研究	27
1. 学系・学科の学習・教育目標	27
2. カリキュラムの編成	29
(1) 教育課程とカリキュラム	29
(2) 学習支援計画書（シラバス）	39
3. 卒業要件	40
4. 必修・選択別科目数と単位数	41
5. カリキュラムの見直しを行う体制	43
6. 科目担当における専任教員と兼任教員の比率	43
7. 単位互換と単位認定	44
(1) 他大学などでの学習と単位の認定	44
8. 海外の大学との学生交流	46
(1) 学生交流協定の締結	46
(2) 学生交流状況とカリキュラム上の位置づけ	46
9. 生涯学習への対応	47
(1) 放送大学科目の履修	47
(2) 生涯学習特別講義の開講	47
(3) ライブラリーセンターの役割	48
10. 正課外教育	48
(1) ライブラリーセンター	49
(2) 情報処理サービスセンター	49

(3) 能力開発センター	49
(4) 工学基礎教育センター	49
(5) 工学設計教育センター	50
(6) 基礎英語教育センター	51
3. 2 教育方法とその改善	51
1. 教育効果の測定と検証	51
(1) 教育内容の点検・評価	51
(2) 第三者による学習・教育目標の検証	52
(3) 卒業生の進路状況	52
2. 成績評価	54
(1) 総合評価点数	54
(2) 自己点検授業	55
(3) QPAポイント (Quality Point Average)	55
(4) 履修科目登録の制限	56
3. 履修条件と在学制限	56
4. 学長褒賞制度	57
3. 3 履修指導	59
3. 4 修学支援	60
1. オフィスアワー	60
2. チューター制度などによる学習支援	61
3. 修学アドバイザー	61
4. カウンセリングセンター	62
3. 5 教育改善への取組み	63
1. 取組みの概要	63
2. FDへの取組み	64
3. 授業アンケート	64
4. 学生満足度調査	65
5. フォローアップ調査	65
3. 6 授業形態と授業方法	66
1. 授業形態と授業方法	66
2. マルチメディアの活用	67
3. 遠隔授業	68
3. 7 国内外における教育・研究交流	68
3. 8 通信制大学など	69
第4章 学生の受け入れ	70
4. 1 学生募集方法・入学者選抜方法	70

1. 入学者受け入れ方針	70
2. 入試区分と選抜方法	70
(1) 工業高校特別選抜	71
(2) 推薦試験	72
(3) 一般試験 (A・B)	72
(4) センター試験利用 (前期・後期)	73
(5) AO入学	74
3. 編入学試験と社会人の受け入れ	75
(1) 編入学試験 (推薦試験)	76
(2) 編入学試験 (一般試験)	76
(3) 社会人推薦試験	77
4. 科目等履修生の受け入れ	77
4. 2 入学者選抜試験の実施体制	77
1. 入学者選抜試験実施計画の立案	77
2. 入試問題の作成	78
3. 入学者選抜試験の実施	79
4. 入学者の選抜と合否の発表	79
4. 3 高大連携への取組み	80
1. 入学前学習支援	80
2. 入学者受け入れ方針を伝えるために	81
4. 4 定員管理	83
1. 在籍状況	83
2. 学部・学科の改組計画	84
3. 退学・除籍の状況	85
第5章 教育・研究のための人的体制	86
5. 1 教員組織	86
1. 教員数と学生数	86
2. 主要科目の担当状況	89
3. 教員の年齢構成	90
4. 産業界出身の教員	90
5. 外国人教員	91
6. 女性教員	92
7. 教員間の連絡調整体制	92
5. 2 教育・研究支援職員など	93
1. 教育・研究支援職員	93
2. 学生による教育補助	94

5. 3	教員の募集・任免・昇格	95
5. 4	教育・研究活動の評価	96
5. 5	併設短期大学	97
第6章 施設・設備		98
6. 1	施設・設備などの整備	98
1.	野々市キャンパス	98
2.	KITハイテクリサーチセンター（松任）	102
3.	自然学苑とセミナーハウス	102
(1)	穴水湾自然学苑	102
(2)	天池自然学苑	103
(3)	池の平セミナーハウス	103
4.	情報処理機器の配備	103
6. 2	キャンパス・アメニティ	107
1.	学園協議会	107
2.	生活環境の整備	107
3.	安全・衛生・環境への配慮	108
(1)	安全と衛生	108
(2)	地域との協同	108
6. 3	施設・設備の利用上の配慮	108
1.	キャンパスのバリアフリー化	108
2.	施設利用時間	109
6. 4	学外教育施設への移動	110
6. 5	施設・設備の維持・管理	111
(1)	安全委員会	111
(2)	衛生委員会	112
第7章 ライブラリーセンター		114
7. 1	図書・ライブラリーセンターの整備	114
1.	図書・学術資料などの整備	114
2.	ライブラリーセンターの規模・整備状況	115
7. 2	利用上の配慮	116
1.	閲覧用座席数	116
2.	開館時間と開館日数	116
3.	図書の貸出と返却	117
4.	サブジェクトライブラリアン（SL）制度	118
7. 3	学術情報へのアクセス	118
第8章 社会貢献		120

8. 1	社会教育活動	120
8. 2	地域社会との交流	120
8. 3	実験空間・創造学講座他の公開講座	121
第9章 学生生活への配慮		123
9. 1	学生への経済的支援	123
9. 2	生活相談など	124
1.	生活上の諸問題への対応	124
(1)	心身の健康維持への取組み	124
(2)	安全衛生への取組み	124
(3)	セクシュアル・ハラスメントへの取組み	125
2.	修学上の諸問題への対応	125
3.	学生の質問などへの対応	126
9. 3	進路指導	127
1.	進路指導体制	127
2.	進路開発センター	128
9. 4	課外活動	129
9. 5	資格取得のための能力開発センター	130
9. 6	学生代表との意見交換の場としての学園協議会	130
第10章 管理運営		132
10. 1	教授会	132
10. 2	学長の権限と選任手続	133
1.	学長の選任手続	133
2.	学長の権限	133
3.	学長補佐体制	134
10. 3	意思決定	134
1.	経営上の意思決定	134
2.	教学上の意思決定	135
10. 4	全学的協議会と諮問機関	135
1.	学園協議会	136
2.	評議員会	136
(1)	評議員の選出	136
(2)	評議員会の役割	136
10. 5	予算の執行	137
10. 6	教学組織と学校法人との関係	138
10. 7	管理運営への学外有識者の関与	138
第11章 財政		139

1 1. 1	教育・研究と財政	139
1. 1	財政基盤	139
2. 1	長期的な財政計画と総合将来計画	139
3. 1	教育・研究の十全な遂行と財政確保	140
1 1. 2	外部資金など	141
1. 1	文部科学省科学研究費など、外部資金の受け入れ状況	141
1 1. 3	予算配分と執行	142
1. 1	予算配分と執行のプロセス	142
2. 1	予算執行に伴う効果の分析と検証	143
1 1. 4	財務監査	144
1. 1	アカウントビリティの履行状況を検証するシステムの導入状況	144
2. 1	監査システムとその運用	144
1 1. 5	財政公開	145
1 1. 6	財政の財務比率	145
1. 1	消費収支計算書関係比率および貸借対照表関係比率における、 各項目毎の比率の適切性	145
第 1 2 章	事務組織	148
1 2. 1	教育・研究における事務組織の位置付け	148
1. 1	事務体制の全体像	148
2. 1	大学事務局	148
(1)	教育計画、運営における事務組織の位置付け	150
(2)	教育の評価改善に対する事務組織の位置付け	150
(3)	修学指導における事務組織の役割	150
(4)	進路業務における事務組織の役割	150
(5)	入試業務における事務組織の役割	151
(6)	教育における戦略の展開	151
3. 1	教育支援機構	152
(1)	工学設計教育に対する支援組織	152
(2)	工学基礎教育に対する支援組織	152
4. 1	法人本部	153
(1)	予算編成審議会	153
(2)	人事委員会	153
(3)	部課長会議	154
1 2. 2	予算編成・折衝における事務組織の役割	154
1. 1	予算編成・折衝の流れ	154
2. 1	教員の教育・研究費用	154

1 2. 3 組織の機能強化のための仕組み	155
1. 各部署における業務改善を行う仕組み	155
第13章 自己点検・評価	157
1 3. 1 自己点検・評価への取り組み	157
1 3. 2 自己点検・評価結果の公表	158
1 3. 3 大学に対する社会的評価など	159
1. 総合的な評価を確認するために	159
2. 社会からの評価	159
3. 金沢工業大学の強みを向上させるために	160
(1) 「教育に熱心な大学」：顧客満足の独自性	161
(2) 「創造性を育む大学」：教育の独自性	161
(3) 「就職に強い大学」：就職の独自性	161
(4) 「教育・研究施設設備がよい大学」：教育・研究環境の独自性	161
(5) 「4つの強みを基盤とし組織能力向上に努める大学」：組織文化の独自性	162

## 第二部 大学院工学研究科

第1章 大学院研究科の理念・目的・教育目標	163
第2章 教育・研究指導の内容・方法と条件整備	164
2. 1 教育・研究指導の内容など	164
1. 大学院研究科の教育課程	164
2. 教育の一貫性	165
3. 博士前期課程（修士課程）入学から学位授与までのプロセス	167
4. 連合大学院などにおける単位互換など	168
5. 社会人学生、外国人留学生などへの教育上の配慮	169
6. 生涯学習への対応	169
7. 専門大学院	170
8. 連携大学院	170
9. 研究指導	171
(1) 研究指導	171
(2) 研究分野や指導教員の変更	172
(3) 連携大学院における研究指導など	172
2. 2 教育・研究指導方法の改善	173
1. 教育効果の測定	173
2. 博士課程（前期・後期）修了者の進路状況	173
3. 成績評価法	174
4. 教育・研究指導の改善	174

2. 3	国内外における教育・研究交流	175
2. 4	学位授与・課程修了の認定	176
1.	博士前期課程（修士課程）の修了要件と学位授与	176
2.	博士（工学）の学位授与	177
(1)	課程博士	177
(2)	論文博士	178
2. 5	通信制大学院	179
第3章	学生の受け入れ	180
3. 1	学生募集方法と入学者選抜方法	180
1.	推薦試験	180
2.	一般試験	180
3.	社会人推薦試験	181
(1)	博士前期課程（修士課程）	181
(2)	博士後期課程	181
4.	科目等履修生	181
5.	研究生	182
6.	大学院特別聴講学生	182
3. 2	定員管理	182
第4章	教育・研究のための人的体制	183
4. 1	教員組織	183
4. 2	研究支援職員	183
4. 3	ティーチング・アシスタント	184
4. 4	教員の募集・任免・昇格など	185
4. 5	教育・研究活動の評価	185
4. 6	他の教育・研究組織・機関などとの関係	185
第5章	研究活動と研究体制の整備	186
5. 1	研究活動	186
1.	論文など研究成果の発表状況	186
2.	国内外の学会での活動状況	186
3.	研究所における取り組みと研究助成の状況	186
(1)	人間情報システム研究所	187
(2)	高度材料科学研究開発センター	187
(3)	先端電子技術応用研究所	188
(4)	情報通信フロンティア研究所	188
(5)	光電磁場科学応用研究所	188
(6)	光電相互変換デバイスシステム研究開発センター	188

(7) 材料システム研究所	189
4. 研究における国際連携	189
(1) 国際的な共同研究	189
(2) 海外共同研究所	190
5. 研究所と学部・大学院の連携	190
5. 2 研究体制の整備	194
1. 経常的な研究条件の整備	194
2. 競争的な研究環境創出のための措置	194
(1) 研究助成金の申請とその採択の状況	195
(2) デュアルサポートシステム	195
(3) 研究組織を弾力化するための措置	196
3. 研究上の成果の公表、発信、受信など	198
4. 倫理面からの研究条件の整備	199
(1) 研究倫理委員会	199
第6章 施設・設備および情報インフラ	200
6. 1 施設・設備の整備状況	200
1. 施設・設備の概要	200
2. 先端的な教育・研究との関係	202
3. 施設・設備の維持管理	203
6. 2 施設・設備および情報インフラ	203
1. 学術資料の記録・保管	203
2. 学術情報・資料の活用ための条件整備	203
3. 情報インフラの整備	204
第7章 社会貢献	205
7. 1 社会への貢献	205
7. 2 企業などとの連携と特許・技術移転の状況	205
7. 3 産学連携と発明の取扱い	207
第8章 学生生活への配慮	208
8. 1 学生への経済的支援	208
8. 2 生活相談・就職相談など	208
第9章 管理運営	210
第10章 事務組織	211
第11章 自己点検評価	212

## 終 章